

令和 5 年 2 月 21 日 メルボルン交流抄

「特別編:2023 年天皇誕生日祝賀レセプション」

2月 16 日、在メルボルン総領事公邸において、400 名近くのゲストをお招きして天皇陛下の 63 歳の誕生日をお祝いする会を開催しました。この日は最高気温 30 度を越える残暑厳しい午後となりましたが、時間とともに気温が下がり、心地よい夕べとなりました。まずは、ご参加いただいた全てのお客様、そして御協賛・御協力していただいた以下の各関係者・関係企業に心より御礼申し上げます。

今回のレセプションでは、オーストラリアの多くの人々に伝統的な日本の文化・芸術とともに新しい日本の姿を見ていただき、初めて、また再び「日本を訪れたい」と思っていたいただければ幸いという気持ちで臨みました。なお、今年は QR コードを使ってご自身の携帯電話等でプログラム、ブース案内、御協力いただいた企業や団体の紹介、食事メニューなどを見られるように工夫しました。

まず、ブランドン・リーさんのすばらしいお箏の演奏、いけばなインターナショナル・メルボルン(リシア・フアングさん、ジョゼフィーヌ・タンさん、小林伸子会長)の華麗な生花、平松礼二先生のジャポニズムの日本画「日本の祈り」でお迎え。今回は、豪州日本美術刀剣保存会から借り受けた鎧と兜のフルセット 2 体を特別展示。300 年前のものと 400 年前のものが揃って見られる貴重な機会となりました。

日本の地方自治体からは、岐阜県、愛知県、徳島県、松戸市(千葉県)も参加。昨年 11 月にオープンしたジブリ・パーク、EXPO2025、メルボルン大阪ダブルハンド・ヨットレースの広報も行いました。シドニーから応援に駆けつけてくれた一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)シドニーの山田牧男次長に感謝。

式典は、和太鼓りんどう(坂本順子さん、大野左矢佳さん、手塚晶子さん)の和太鼓演奏、それに続く、メルボルン弓道会(千葉みゆき四段、デズモンド・クロークさん、ダニエル・ベリーさん)による巻藁射礼の儀式で始まりました。オペラ歌手のウッド久恵さんの豪日両国国歌斉唱。総領事の挨拶。ビクトリア州首相の代理で出席したニック・スタイコス州首相大臣政務官、州野党自由党を代表してジョン・ペスト党首から挨拶していただき、乾杯によって宴もたけなわとなりました。

裏千家淡交会メルボルン協会の方々(グリーンウッド律子さん、長坂章子さん、グールド靖子さん、キム・リーさん、ホームズ玉美さん)による茶道のデモンストレーションも大盛況でした。

岐阜県、徳島県からは地元産品の紹介、試食・試飲が行われました。そのうち、特に岐阜県の飛騨牛、いちご(美濃娘)は今年も大好評でした。飛騨牛は、今年も荒金育英シェフ(日本食普及の親善大使)が炭火で調理し、ゲストを虜にしていました。古田肇知事の熱い思いも伝わったのではないかと思います。また、徳島県からは、すだちを使った冷たいドリンク等が提供されて喉の渇きを潤してくれました。

また、今年は初めて、昨年 12 月にオーストラリア第一号店をメルボルンにオープンした小樽のルタオがチーズケーキの試食を提供。北海道のミルクとビクトリア州のクリーム・チーズのとろけるようなコラボは最高でした。

公邸の入口ではトヨタのミライ 2(水素燃料電池車)、三菱自動車のアウトランダー(プラグイン電気自動車)の展示。当地日系企業の麒麟、アサヒからはビール、伊藤園からは抹茶スムージー、ヤクルトからは乳酸菌飲料、小林製薬からは生活用品、日本からは日本盛が日本酒等を提供していただき大好評でした。

食事は大津尚也公邸料理人が腕を振るって、当地の食材を活かした日本食を味わっていただきました。

最後に、多くの方々から、楽しくかつ充実したレセプションであったとのことのお言葉をいただいております。皆様、本当にありがとうございます。





(写真提供:Photography Studies College)

